

第21回 手術の未来

2024.12.17 18:00 - 20:00

外科医と企業の連携によるイノベーションをめざして

「手は“第2の脳”」と呼ばれるほど重要な役割を果たしています。手は、他の臓器と比べて脳の広い領域に支配され、巧緻な動きや知覚を通じて、多くの情報を受け取り発信する能力を持っています。さらに、手の中には微細な神経構造が張り巡らされており、これがその高い機能を支えています。しかし、神経の損傷が起こると、その回復は限られることが多く、生活に支障をきたす場合があります。本講演会では、神経損傷の回復が困難なケースにおける「神経移行術」や「神経バイパス術」を用いた挑戦的な治療法をご紹介します。これらの治療は、神経再生の可塑性（神経が柔軟に新たなつながりを作る能力）や軸索（神経細胞から伸びる情報伝達の通路）が持つ多方向への伸展の可能性を利用し、ネットワーク型の知覚再建を目指しています。また、良好な回復を期待してマイクロサージャリー技術による血管柄付き神経移植を多用しており、ネットワーク型再建の方法および血管柄付き神経移植の採取方法とその可能性についてお伝えします。

本研究会の光嶋 勲会長（広島大学病院 形成外科 教授）からは、招待講演に関連する最新知見、世界の動向をご紹介します。講演後、登壇者とのパネルディスカッションは好評で、Q&Aを通して登壇者と対話ができる活気あふれるオンライン講演会です。ぜひご視聴ください。

企業の皆様、本研究会は次世代のスーパーマイクロサージャリー実現に向けて医の巨匠と企業とのコラボレーション創出を推進しています。医療イノベーションを志す企業の皆様は、ぜひこの機会に講演会へご参加ください。ご登壇いただいた医師とのご面談を希望の企業の皆様へ面談支援も実施しております。お気軽にご相談ください。



オープニング講演

スーパーマイクロサージャリー最新の知見 ②1
— 手の美容再建と手の疼痛外科 —光嶋 勲 氏 広島大学病院 形成外科 科長
国際リンパ浮腫 治療センター 寄附講座 教授招待講演 手外科領域における神経ネットワーク型
再建と血管柄付き神経の利用

宇佐美 聡 氏

東京手の外科・スポーツ医学研究所 高月整形外科病院
東京科学大学病院 形成・美容外科／再建形成外科
非常勤講師・臨床教授

2004年 東京医科歯科大学医学部卒業
2004年 横浜労災病院にて初期臨床
2006年 東京医科歯科大学形成外科入局。その後関連病院にて研鑽、北海道大学形成外科留学を経験。
2013年 4月、東京医科歯科大学形成外科助教
2015年 東京手の外科・スポーツ医学研究所 高月整形外科病院に異動。
2024年 10月より東京医科歯科大学が、東京科学大学に名称変更。東京科学大学病院 形成・美容外科／再建形成外科 非常勤講師・臨床教授として籍を置き兼務し、現在も高月整形外科病院にて外傷、変性疾患などを含めた手外科治療全般、形成外科治療を行っている。中でも神経損傷の治療には挑戦的な治療を行っている。

▼主な所属学会
日本形成外科学会（専門医）、日本整形外科学会（専門医）、日本手外科学会（専門医・代議員）、日本マイクロサージャリー学会（評議員）。

◆ 参加費とお申込み : <https://cpk.jp/reg/2>参加費：企業・公共機関など団体様は、1人15,000円、2人28,000円、3人40,000円
※お得な回数チケットもございます。事務局へお問合せください。

* 医療従事者、アカデミア、学生（社会人学生を除く）は無料です。

◆ 事務局：一般社団法人みらいメドテック | E-mail : info@ikou-funding.com | <https://ikou-funding.com>